はれのち くもり

―ピアス物語―

作画　バベットしもじょう
棕櫚亭（しゅろってい）

この物語は、はからずも心を病んでしまった１人の若者が、精神病院で出逢った長期入院患者との友情や、社会就労センターピアスでの仲間たちとのきずなや支えを胸に就労へと向かう姿を描いた、心の再生と復活の物語である。

樹心社　定価1300円

♪厚生労働省推薦!!

♪全国精神障害者家族会連合会推薦!!

★詳細、お申し込みは裏面へ！

ご挨拶

棕櫚亭　常任理事　天野聖子

精神病、この独特の言葉の響きに圧倒され、翻弄されてきたのは、もちろん病気になった本人、そして家族。

日本は発病したら入院という隔離政策を取ってきたために、病気は治っても社会に出られないという人をたくさん作ってしまった。三十年も四十年も入院したまま亡くなっていった人の悲惨な歴史を私たちの社会はまだ清算できないでいる……。

今また景気回復に向かっている社会の流れの中でようやく「病院から地域へ」という言葉が受け入れられるようになってきた。共同作業所や授産施設、ホームなどが各地に作られ、少しは暮らしやすくなったし、そういう支えがあれば再発しないで地域で暮らせるようになってきた。

それでも精神障害者は働けない、「無理をすると悪くなるから仕事はご法度」という定説が、医者、家族、そして関係者に根強くある。病気からの回復が職場復帰につながるという世間一般の流れとかけ離れたまま、仕事に就くことを断念させられているのが現状だ。

しかし彼らの働きたいという希望はとても強い。「あきらめたくない、何とかして自分の力で生きていきたい」という思いは切実だ。

私たちは二十年前に共同作業所を作り、三つの作業所の後にピアスを立ち上げた。みんなの希望を受け止めて、「働きたい」を「働ける」ようにしていこうと、やってきた。

就労支援のプロセスが彼らの言葉の回復、生きる喜びにつながるような膨らみを持っていたいと願ってきたが、気付いてみると、彼らのほうが一歩も二歩も先に行っていて、成長、変化を繰り返していた。

それなりの働き方をしながら、メール交換をし合い、ブログをつくり、小説を書き、バンドを組むなど、いろいろな表現をしていく彼らは、日々、雄弁になっていく。

「働けるということが奇跡で、毎日目覚めると嬉しくて……」

「給料で先生にお菓子を買っていったら感動されちゃったよ」

「緊張しっぱなしで一日終わるから、単純な仕事でもすごい達成感がある」

そんなふうに言う彼らの笑顔と輝きは、本当に美しい。それは閉塞感の強まっているこの世の中で、無表情、無気力になっていく人々のあり方とはある種対極にあって、逆にここから何か発信ができるかもしれない。そんな嬉しい予感の中で私たちはこの活動を世に出そうと決意した。

この物語は、幻覚妄想の果てに、入院した若者が出逢った長期入院の友人が、ほどなく入院中に死亡する。病院しか居場所がなかった彼の無念の思いを受け止めた主人公が、ピアスのトレーニングを経て就職してゆく。そこに至るまでの失敗と挫折、家族の悲哀と不安を支える仲間と友情のドラマ……これは、傷ついた心の再生と復活の物語で、ほとんどが実話に基づいたフィクションである。

一人の成功が十人の成功に、そして千人の感動に……病気があってもあきらめない、美しく生きていけるというそんなメッセージを送りたい。

お申し込みは、いますぐコチラへどうぞ

★メールでお申し込みの方

お名前、ご住所、お電話番号、E-mail アドレスとご希望の冊数をご記入の上、kikaku@shuro.jp までメールをお送り下さい。

★ファックスでお申し込みの方

チラシ下部のお申し込み書にご記入の上、棕櫚亭・ピアス（042-575-5911）までファックスをお願いします。

★電話でお申し込みの方

棕櫚亭・ピアス（042-575-5911）までお電話下さい。

＊送料は、下記の通りです。６冊以上の場合は、直接お問い合わせ下さい。

1冊	2冊	3冊	4冊	5冊
290円	340円	450円	450円	590円

＊本と一緒にお送りする郵便振替の用紙で商品到着後、10日以内にお振り込み下さい。ご請求額は、**【本の代金 1300 円 + 送料】**となります。

【お問い合わせ】
棕櫚亭（社会就労センターピアス）　東京都国立市富士見台 1−17−4
TEL&FAX 042-575-5911 まで

＜お申し込み書＞

『はれのちくもり ピアス物語』を購入します。

ご購入冊数 _____冊

お名前 _____

ご住所 〒_____

お電話番号 _____

E-mail _____